



# ワークショップ 「新しい音楽をつくる」Vol.2

Workshop: Creating New Music Vol.2

6月24日(土)16:00開演  
調布市せんがわ劇場

Saturday, June 24 at 16:00  
Chofu City Sengawa Theater

新しい音楽作品が生まれる「創作」の裏に隠された作曲家と演奏家のコミュニケーションを大公開!事前にこのワークショップに参加する若手作曲家が書いたスケッチを第一線で活躍する奏者が初めて音にすることで、作曲家と演奏家が「新作」を作り上げる模様をお届けします。

This workshop reveals how composers and performers communicate with each other during the creative process of a new musical composition. Young composers will submit sketches of new works prior to the workshop, which will be played for the first time by leading performers, and they will work with each other to create a work.

## ワークショップ参加作品

Participating Works

フィリップ・シートン: Shigeruの戦争

Philip Seaton: Shigeru's War

出会ユキ: SEIGAIHA 2023

Yuki Deai: SEIGAIHA 2023

三谷峰生: 35.7°C

Hosho Mitani: 35.7°C



©Daniel Campbell



©Kaz Ishikawa



©Yuko Moriyama otocoto



©Marco Borggreve



©K.Miura



作曲: 金子仁美  
Hitomi Kaneko, Composer

作曲: 細川俊夫  
Toshio Hosokawa, Composer

作曲: 藤倉 大  
Dai Fujikura, Composer

司会: 鈴木優人  
Masato Suzuki, Moderator

ヴィオラ: 成田 寛  
Hiroshi Narita, Viola

フルート: 上野由恵  
Yoshie Ueno, Flute

ホルン: 福川伸陽  
Nobuaki Fukukawa, Horn

## 金子仁美 | Hitomi Kaneko

桐朋学園大学作曲理論学科作曲科卒業。同大学研究科在籍中にフランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院作曲科にてジェラルド・グリゼイに師事。IRCAM (音響/音楽の調整と探求の研究所)にて研修、制作を行う。独自の方法的視点からする音響構築や微分和音の使用、そして色彩感溢れる器楽音の配色による作品を多数発表。また、1998年より演奏会企画も行い、話題の作曲家作品の世界初演、日本初演などを行っている。東京藝術大学准教授、桐朋学園大学非常勤講師。

## 細川俊夫 | Toshio Hosokawa

広島生まれ。ベルリン芸術大学でユン・イサンに、フライブルク音楽大学でクラウス・フーパーに作曲を師事。ヨーロッパと日本を中心に、作曲活動を展開。日本を代表する作曲家として、欧米の主要なオーケストラ、音楽祭、オペラ劇場等から委嘱を受け、国際的に高い評価を得ている。2001年にベルリンの芸術アカデミー会員に選出。ヨーロッパや日本の音楽団体のコンポーザー・イン・レジデンスを歴任し、12年にはドイツ・バイエルン芸術アカデミーの会員に選出。12年紫綬褒章、18年度国際交流基金賞、21年ゲーテ・メダル受賞。武生国際音楽祭音楽監督、東京音楽大学およびエリザベト音楽大学客員教授。

## 藤倉大 | Dai Fujikura

大阪府生まれ。15歳で単身渡英しJ.ベンジャミンらに師事。これまでに数々の作曲賞を受賞、国際的な委嘱を手掛ける。オペラの国際評価も高く、2015年にサンゼリゼ劇場、ローザンヌ歌劇場、リール歌劇場の共同委嘱による《ソリス》を世界初演。20年に自身3作目のオペラ《アルマゲドンの夢》が新国立劇場で世界初演された。17年から東京芸術劇場で開催の「ポンクリ・フェス」アーティストティック・ディレクターを務める。23年に4度目となる尾高賞を受賞。近年の活動はリモート演奏のための作品発表や、テレビ番組の作曲依頼等多岐に渡る。録音はソニー・ミュージックジャパンインターナショナルやMinabel Recordsから、楽譜はリコルディ・ベルリンから出版。https://www.daiujikura.com/

## 鈴木優人 | Masato Suzuki

東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。第29回(2021年度)渡邊曉雄音楽基金音楽賞受賞。パッサ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者/クリエイティブ・パートナー。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサーをはじめ舞台演出、企画プロデューサー、作曲とその活動に垣根はない。九州大学客員教授。

## 成田 寛 | Hiroshi Narita

1986年に新日本フィルハーモニーに入団、約10年在籍。その間89年~90年、93年~94年の二度に渡りオランダのデン・ハーグ王立音楽院に留学、V.メンデルスゾーン氏に師事。またKISA弦楽四重奏団のメンバーとして95年~97年、秩父及びロンドンでの「アマデウス・クアルテット・セミナー」に定期的に参加しアマデウス・クアルテットのメンバーより薫陶を受け、ロンドン・ロイヤル・ポートレートギャラリーに於ける演奏会等に出演。その後新星日本交響楽団の首席奏者に就任、合併後東京フィル首席奏者を2003年まで務めた。現在は山形交響楽団契約首席を務める他、鈴木秀美、若松夏美、寺神戸亮、有田正広、L・コッポラ、S・ホッホランドの各氏等との室内楽での共演、楽遊会弦楽四重奏団やオーケストラ・リベラ・クラシカ、パッサ・コレギウム・ジャパン等のメンバーとして活動している。

## 上野由恵 | Yoshie Ueno

東京藝術大学を首席卒業。同大学院修士課程修了。第76回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)。第2回東京音楽コンクール第1位。第15回日本木管コンクール第1位、聴衆賞。ソリストとして、国内外のオーケストラと多数共演。これまでに計12枚のCDをリリースし、それぞれ『レコード芸術誌』特選盤、朝日新聞特選盤等に選ばれる。2018年に『S&Rワシントン賞』を受賞し、ワシントンD.C.やNYカーネギーホールにて演奏。アメリカ及びフランスでの活動を経て2018年に帰国。帰国後も、国内外での精力的な演奏活動を続けている。https://www.yoshieueno.com/

## 福川伸陽 | Nobuaki Fukukawa

NHK 交響楽団首席奏者。第77回日本音楽コンクールホルン部門第1位受賞。ソリストとして、パドヴァ・ヴェネト管弦楽団、京都市交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、横浜シンフォニエッタ、兵庫芸術文化センター管弦楽団他と共演。ロンドンのウイグモアホールをはじめ、ロサンゼルスやブラジル、北京などでリサイタルをするなど、世界各地から数多く招かれており、「la Biennale di Venezia」「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」「東京・春・音楽祭」などをはじめとする音楽祭にもソリスト・室内楽奏者として出演を重ねる。

## フィリップ・シートン | Philip Seaton

英国ロンドン出身。日本には26年間在住(2018年より調布市民)。幼少期にピアノとヴァイオリンを始め、ケンブリッジ大学在学中にはオーケストラ部などで演奏。10代より独学で作曲活動を行う。2002年「Requiem」ロンドン初演。2003年 Mill Hill Music Festivalの依頼により「The Mill Suite」ロンドン初演。2018年にCD「チェンパーワークス」(HD Impression)をリリース。2021年に「弦楽四重奏曲 八長調」が調布国際音楽祭ミュージックサロンにて演奏される。2023年5月24日「Trio Concertante」を彩三重奏の1stアルバムにてリリース(Exton)。ウェブサイトhttps://music.philipseaton.com

## 出会ユキ | Yuki Deai

作曲を独学、笙を宮内庁式部職楽長多忠輝、笙、右舞、打物を同楽師多忠純に師事。雅楽団体に古典雅楽の伝承に務めている。一方で、古楽器の現代音楽での可能性に興味をもち、武満徹作曲セレモニアルを東京シティ・フィルや新日本フィルと共演。一柳慧や藤倉大作曲の笙独奏曲も演奏している。プロデューサーとしても活動。趣味は能、浄瑠璃。

## 三谷峰生 | Hoshio Mitani

3歳からヴァイオリンを始め、埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科、武蔵野音楽大学音楽教育科ヴァイオリン専攻を卒業。卒業後、エレクトリックヴァイオリンプレーヤーとして、ジャズ、ポップス、プログレ、邦楽、クラブミュージック、コンテンポラリー等様々なフィールドで活動。現在は、映像作品のための音楽を中心にLogicを使用したサウンド作りから、作曲、演奏、録音、ミックスなど、必要な音楽制作作業の全てを一人でやっている。2021年、映文連アワード2021にて音楽制作と演奏を担当した映像作品「ぼく だれだともう?」が文部科学大臣賞を受賞。2022年「NHKキッズ」のCM音楽を担当。

主催 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団、調布市

特別協賛 アフラック生命保険株式会社

協賛 一般社団法人世田谷音楽指導者協会、株式会社ハイファイ、洋食屋クリスマス亭、LITTLE BUNS 調布のスパゲッティとワインの店、越野建設グループ、株式会社伊藤楽器、ONDA.photo-studio、

株式会社角川大映スタジオ、管楽器専門店ダク、桐朋学園芸術短期大学、さくらソリスト株式会社、公益財団法人府中文化振興財団、

株式会社Ocean Blue Bird、株式会社スターズミュージックラボラトリー、ピアノサロン&ピアノ教室【奏音の小箱】

CIMFスポンサーシート(敬称略) 一般財団法人渡辺記念育成財団 渡邊万由美、公益社団法人調布市医師会 西田伸一、おぎもと内科クリニック 荻本剛一

助成 芸術文化振興基金、文化庁 劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業、公益財団法人花王芸術・科学財団、公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団、公益財団法人野村財団

後援 調布市教育委員会、調布市国際交流協会、京王電鉄株式会社

協力 桐朋学園大学

制作協力 公益財団法人ジェスク音楽文化振興会

エグゼクティブ・プロデューサー 鈴木優人

アシリエイト・プロデューサー 森下 唯

監修 鈴木雅明

コミュニケーション・アドバイザー 平野敬子

マネジメント 有限会社パッサ・コレギウム・ジャパン